

理事会議事録

社団法人 日本グラススキー協会

- 1 会議の種類 第20回理事会
- 2 召集年月日 平成22年2月9日
- 3 開催日時 平成22年3月2日(火)午後14:00～14:45
- 4 開催場所 株式会社アルピオン 本社分室 A4 会議室
- 5 理事総数 15名 出席理事数13名 (定足数10名 会議成立)
内訳 本人出席3名 小林英夫、三島木和晴、藤田洋一
委任状出席10名 出席監事 井田敏夫 塚田耕一

6 議長専任

定刻に至り司会者が開会を宣し、本日の理事会は定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、定款により議長として会長小林英夫を満場一致で選任し、議長より挨拶の後、議案の審議に入った。

7 会議の概要

(1) 議事録署名人選任の件

議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次の者を専任した 議事録署名人 三島木和晴 藤田 洋一

(2) 議事の審議状況及び議案別議決結果

第1号議案 平成22年度事業計画について

議長の指名により藤田常務理事より同案について説明があった。

グラススキーの更なる普及を目指した普及事業(体験会・講習会・資格認定・研修会)をより積極的に開催する。国内大会としてはA級大会他の山形県米沢市開催。B級大会の公認開催、その他競技会の開催。国際大会への代表選手派遣、委員派遣(チルドレンズキャンプ・ジュニア世界選手権派遣)を行う事他、各事業内容について説明がされた。

議案内容に関連しての審議があり審議の結果、満場一致をもって異議なく承認した。

決定事項:ジュニア世界選手権(イラン)への選手派遣は開催国の情勢を調査し、強化委員会にて決定する。

第2号議案 平成22年度収支予算について

議長の指名により藤田常務理事から同案について説明があった。

事業費部門での予算配分の見直し、4月決定の助成金申請中項目の説明。

議案内容に関連しての審議があり審議の結果、満場一致をもって異議なく承認した。

(質問)申請中助成金が不採用となった場合の対応は(小林)

(回答)例年同様に対象事業内容の変更、当該予算他の修正が必要になると考えております。予算修正が必要の場合には5月開催予定の理事会、総会にて審議いただきたいと考えております。(藤田)

第3号議案 その他

<年間表彰について>

議長の指名により藤田常務理事より各委員会からの推薦者について報告があった。これまでの協会活動への功績から普及委員会並びに強化育成委員会より推薦のあった竹鶴威前会長を理事会として推薦することを満場一致にて決定した。

<各委員会委員について>

現行委員の継続、規定により選出された強化・普及各専門員を満場一致にて承認。

<競技ルールの変更について>

議長の指名により藤田常務理事よりグラススキー長さ規定(シニアクラス男女)変更について説明があった。審議の結果、国際スキー連盟ルールと統一の方向で各方面との調整を行う事が満場一致で決定された。

(H22年5月開催予定の総会にて数値決定)

<公益認定移行申請について>

議長の指名により藤田常務理事より公益認定移行申請現状及び今後のスケジュールについて説明があった。

H21年5月開催「第19回社員総会」及びH21年9月開催「臨時社員総会」の決定に基づく活動の継続が満場一致にて確認された。

<ワールドゲームス協会加入の是非について>

議長の指名により藤田常務理事よりワールドゲームスへの参加状況について説明があった。グラススキー競技の地域性から過去10数年間グラススキーは種目として開催されていない。(年会費3万円支払)

入会時と異なり、現在は国際スキー連盟競技種目となついている等の現状から満場一致にて退会手続きを進める事が承認された。

以上をもって議案の審議が終了したので、議長が閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証する為、議長並びに議事録署名人はこれに署名捺印する。

平成 22 年 3 月 2 日

社団法人 日本グラススキー協会
第 20 回理事会

議 長 小林 英夫 印

議事録署名人 三島木 和晴 印

議事録署名人 藤田 洋一 印